

～八ヶ岳歩こう会創立20周年記念～
甲州街道ウォーク

コースマップ

第8回 笹子宿～笹子峠～鶴瀬宿
2018年12月19日(水)

- ・距離 約14km
- ・解散 甲斐大和駅 16:00頃
- ・担当者 村松光比古
小林光修
小塚敏夫
木地勝男

- ・次回開催 第4回 八王子宿～与瀬宿
- ・2019年2月25日(月)
- ・距離 約16km
- ・集合 西八王子駅(午前9時30分)

【矢立の杉】

矢立の杉は樹齢千年を超すと言われますから、此の地に根を下ろしたのは、はるか昔の平安時代のことです。戦国時代、笹子峠を通過して合戦に赴く武士が必勝を祈願して、この杉に矢を射たことが由来とされています。矢立の杉は旅人たちの憩いの場として人気を得、江戸時代末期の浮世絵師・葛飾北斎や二代目歌川広重の絵にも描かれています。高さ28m、根回り14.8m、幹回り9m。演歌歌手で俳優の杉良太郎さんのCD「矢立の杉」が平成20年に発売されたことで脚光を浴びている。

【笹子峠】

山梨県大月市と甲州市(旧大和村)の間にある峠。標高1096m。甲州街道の江戸～下諏訪間のほぼ中間点にあたり、甲州街道の最大の難所と言われた。1938年(昭和13年)峠のほぼ下を貫く笹子隧道(全長240m)が開通し、甲州街道としての機能を終えるが、狭い道が複雑に曲がり、交通の難所には違いなかった。1958年(昭和33年)新笹子トンネル(全長2,953m)の開通によるルート変更により国道20号線から県道に降格。交通量も激減した。

